

血清コリンエステラーゼと 高齢者の「元気度」の相関

なか やま ひろ のり ふじ た やす ゆき
中 山 博 識 藤 田 委 由

キーワード：高齢者，要介護度，コリンエステラーゼ，やる気スコア

要 旨

「元気」とは抽象的な表現であり，これを具体的に表す指標はないかと高齢者の要介護度，寝たきり度，自立度などと，コリンエステラーゼ，アルブミンなど生化学検査や意欲低下の評価で用いる「やる気スコア」との多変量解析を行なった。対象は平成17年2月から平成19年5月までの当施設入所者84名（男性20名，女性64名）で，その結果コリンエステラーゼは，要介護度，BMI，やる気スコアと相関がみられ，利用者の病態を即時に反映するので，元気度の指標になりうると考えられた。またアルブミンと組み合わせれば，利用者の健康状態のさらに精度の高い指標となると思われ，特定高齢者選定や認定調査の補助手段になる可能性もある。

はじめに

近年の少子高齢化の進展，医療・介護保険制度の改正，団塊の世代の大量退職など社会環境は大きく変化し，医療計画，介護保険事業計画，健康増進計画なども広範多岐，複雑なものとなってきた。本来「公助・互助・自助」に立脚すべき医療や福祉が，最近では「自助」のみ強調された感があり，国においては「医療保険・介護保険のこれからのあり方」の議論，さらには「介護療養型病

床の廃止に伴う介護施設の再編」など，財政に力点を置かれた制度改正はまだまだ続くものと予想される。このような時代にあって健康維持は個人の自己責任であるとの考え方から，「健康度」，「元気度」という言葉が注目されている。

当施設は，入所定員50名（うち短期5名），デイケア20名の介護老人保健施設である。

現在，老健施設長兼管理医師として勤務しているが，老健に就職する以前の23年間消化器外科に従事してきた。その経験の中で，消耗性疾患，手術後，癌末期など患者さんの「元気度」をみる指標として，コリンエステラーゼが重用してきた。即ち，低栄養や侵襲の大きい手術などで体力が落ちてくるとコリンエステラーゼが徐々に下がって

Hironori NAKAYAMA et al.

1) 社会福祉法人多伎の郷老人保健施設たき

2) 島根大学医学部公衆衛生学教室

連絡先：〒699-0903 出雲市多伎町小田50-7